

第40回(社)日本PTA関東ブロック研究大会 埼玉県大会

10月17日(金)・18日(土)の二日間に渡り埼玉県熊谷市において第40回(社)日本PTA関東ブロック研究大会埼玉県大会が「育もう豊かな心と生きる力を支えよう」と題して夢のある子どもたちを大会スローガンとして開催され、初日の17日は7つの分科会でそれぞれの議題に対しての事例発表及び講演が行われました。

市川市P連からは副会長及び副会長が第2分科会(家庭教育力)に、理事が第2分科会(食育)に参加致しました。

第2分科会の研究テーマは「食育・規範意識等」基本的な生活習慣を身に付けさせるための家庭教育の教育力向上を目指すことについて研究発表として長野県PTA連合会副会長から「家庭が原点：子どもといっしょに」子育て風林火山」と題して発表がありました。

研究発表に演奏を用いて替え歌を歌い、会場参加型研究大会の成果を強く認識いたしました。

茨城県PTA連絡協議会副会長(女性ネットワーク委員長)茨城県Pは「母親委員会」から「女性ネットワーク委員会」へ名称変更したそうです。

伝えよう！子どもたちに「あなたがいるしあわせ」と題して発表がありました。

活動テーマを「すべては愛すべき子どもたちの未来を守るために」、平成19年度・20年度の研究テーマは「あなたがいるしあわせ」ということで、「子どもがいることしあわせ」「かけがえのない存在である

子ども」について、ポジティブキャンペーンを展開して行くというものでした。「わが子への手紙」子育てをしながら悩んでいる人たちに、子どもの誕生時の喜びや成長時の感動を振り返りながら「わが子への手紙」を書いてもらい、冊子にまとめた。日常のひとコマを振り返る「愛の記録」となっている。

(稲荷木小)

食を通して私達が出来ることについて横浜市と埼玉県伊奈町の研究発表は、それぞれの地域の特性を十分に理解したうえで取り組みを行っており大変興味深いものでした。

国際色豊かな横浜市では給食の献立にもその傾向を取り入れ国際理解を深めているそうです。

伊奈町では地元の新鮮な野菜や米を使用した取り組みなどで活動する学校・地域が一緒に触れ合うことが大切だと発表されました。

家庭では、早寝・早起き・朝ごはんを実践することが大切だと改めて感じた大会でした。

(第五中)



第2分科会(家庭教育力)

第57回千葉県PTA研究大会(安房大会)

第57回千葉県PTA研究大会が11月8日(土)千葉県南総文化ホールにおいて、「心豊かな健康でたくましい子どもを育てるために、大切にしよう」家族の絆、連携を図ろう、家庭・学校・地域社会を大会スローガンとして開催されました。

全体会では、来賓の方々からのご挨拶に引き続き健全育成に関する標語コンクール及び実践記録「我が家の家庭教育」コンクールの入賞者の表彰がありました。



式典の様子

記念講演では三遊亭若圓歌師匠が「すて目すて目」の頭の小引き出し」というテーマで講演がありました。

演題であります「すて目すて目」とは、いま必要ではないことだとしても「見たこと」、「聞いたこと」を頭の片隅に入れておくことで、必ず役に立つ時がくると話されました。

事務局の6名が第2分科会と第4分科会に分かれて参加しました。

第2分科会(家庭教育)の様子



いうことは、長生きに通じていて笑う時には長く息をして笑いますが、長く息をする長生きをするということだそうです。人は記憶型と想像型とがあり、記憶型は教わったことを覚えるのは得意だけれど応用がきかない。これに対して想像型は、子どもの頃は、勉強は出来ないかもしれないが、大人物になっていく人が多い、いま自分の子どもが勉強が出来なくても、自分を振り返り、子どもを信じてあげることが大切だと笑いを交えて話されました。

午後からは研究課題ごとに6つの分科会に分かれ、24校のPTAより提案・提言が行われました。市川市からは第2分科会(学校教育)に助言者として第五中の校長先生と司会進行として佐藤会長が、第4分科会(家庭教育)に提言者として新浜小PTAの会長が参加されました。この他に、市P連から副会長、事務局長、理事、副会長、事務局長、副会長、理事、事務局



提言される新浜小PTA会長

第2分科会は、学校教育をテーマとして「思いやりの心を育てる家庭教育とPTA活動」「生涯学習社会と家庭教育」の研究課題について新浜小PTAの会長が提言者として子どもを幸せにしたい！だから大人が「明るく元気に楽しく」人生を過ごそう！と題して活動報告をされました。また、他に県内3校の提言がありました。